

教材・支援機器活用実践事例フォーマット（小中高版）

	実施年度	平成 27 年度	
授業について	教科名等	登校後の時間	
	単元・題材名		
	授業における教師のねらい	○黒板の情報を見て、自分で気づき、朝の準備をすることができる。	
	授業における子どもの目標		
子どもについて	学級・学校・学年	通常の学級 小学生 低学年	
	対象の障がい	なし *支援の必要な児童	
	授業形態	集団学習	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	登校後、朝の準備を忘れ、教師が一つ一つ声を掛けたりしなければならない状況である。本人が、朝の取り組む内容を理解し、主体的に取り組めることが必要である。	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	時間カード 取り組む内容カード	<p>【画像】</p> 
	活用のねらい	<p>○登校後、朝の活動を、自分で意識して取り組むことができる。</p> <p>○活動を忘れた時にも、自分でカードを見て準備に取り組むことができる。</p> <p>○学級全体の朝の準備の時間をスムーズにし、学習活動に入る。</p>	
授業における支援・教材の配慮事項		<p>○時間が分かるようにカードを工夫。</p> <p>○活動が明確になるようにカードの内容を精選</p>	
子どもの変容や評価		<p>○児童が、自分で見て、気づき、朝の準備をするようになった。また、忘れていた時にも、「黒板を確かめてごらん。」の声かけで、自分で次の活動に気づき取り組むことができるようになってきた。</p> <p>○支援を必要とする児童だけでなく、クラス全体で、次にやるべき活動を意識し、朝の準備が早くなり、すぐに学習姿勢をとることができ、学習にとってもよい効果であると感じた。</p>	